

互山

新宿区立 戸山小学校

優しさを育む学校

校長 百合野 壽郎

まだまだ暑い日が続きますが、心なしか日差しも秋を感じさせる季節となりました。今学校では、新型コロナウイルス感染症対策下における「学校の新しい生活様式」を進めるにあたり、少しずつ学習や生活において取り組める範囲を広めている状況です。残念ながら感染リスクをいまだゼロにすることはできません。今できることは感染症対策を徹底することにより、今できることに精一杯取り組んでいく事だと考えています。まだまだ、予断は許せませんが、感染症対策と教育活動の両立について、これからは学校より様々な発信をさせていただくことと思います。保護者・地域の皆様方におかれましても、引き続きご理解・ご協力の程、よろしくご願ひ申し上げます。

全国各地においても、新型コロナウイルスの感染により、学校閉鎖・学年閉鎖等を行う学校もちらほらと出てくるようになりました。今や新型コロナウイルスは、いつ・だれが・どこで感染してもおかしくない状況なのです。大切なのは「感染した個人や学校を特定して非難しない」「感染者と同じ職場の人や医療従事者などの家族が感染しているのではないか疑い悪口を言わない」など、身の回りにおいて差別等につながる発言や行動を絶対行わないことです。

差別や偏見に同調せず、感染者や感染症対策に従事していただいている方々すべてに、感謝と思いやりをもって接していけるようにすることです。正しい知見とともに、人々の優しさ・思いやりこそが新型コロナウイルス対策における最大の武器なのです。

戸山小学校でも、本年度の学校経営方針である「優しさを育む学校」を目指し、この状況を機に一層子ども同士の温かい人間関係のある学校づくりに取り組んでいきます。

10月24日(土)にスポーツフェスティバルを開催します。残念ながら例年のような運動会は開催できませんが、子ども達の体育科を中心とした日頃の学習成果の発表の場としたいと思います。感染症対策にご協力いただきながら、子ども達の頑張りを応援していただければ幸いです。

学年の窓 6年

徐々に戻ってくる日常

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、移動教室や運動会など多くの行事が中止や代替え行事になりました。学年間の交流も少なく、授業だけの学校生活になるなど、子ども達にとって息苦しい学校生活になっています。そんな中、先月19日(土)に弁護士の先生によるいじめ防止教室を行いました。5、6年の高学年を対象とした授業は、実際に起こった事件を題材にしており、子ども達は生きることの大切さや何気ない行動でも他者の心を傷つけてしまうことを学びました。それぞれの人物の手紙を読み解く場面では、いじめを受けていた児童の気持ちを感じ取り、苦しい表情を見せる子もいました。弁護士の先生方の熱のこもった話に多くの子ども達が真剣に耳を傾けていました。

思春期に入り多感な時期になる子ども達ですが、今後もさまざまな場面を通して、自分を大切にしていけるよう、他者を思いやる心を育むことができるよう、学級でも、道徳教育や学校生活などで継続的な指導に取り組んでまいります。

